

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 23 年度第 1 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 23 年 4 月 20 日 (水) 14:00~17:00 予定					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	高橋 邦夫	○	理事	安福 規之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	○	部員	長田 昌彦	○	部員	岸田 潔	×
部員	坂元 耕三	×	部員	豊田 浩史	×	部員	西岡 英俊	×
部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	○	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	○						

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-23.1.0	平成 22 年度 第 5 回基準部会議事録案
資料-23.1.1	平成 23 年度予算
資料-23.1.2	「東北地方太平洋沖地震等」対応方針案（第二次）資料
資料-23.1.3	平成23年度常設委員会の構成案
資料-23.1.4	新設 WG 設立趣旨『地盤工学用語の規格作成 WG』
資料-23.1.5	常用漢字表改定に伴う提案書
資料-23.1.6	レキシコン日英対応の電子化資料
資料-23.1.7	室内試験関係規格・基準に関する質問への対応
資料-23.1.8	地盤調査基準進捗表
資料-23.1.9	新設 WG 設立趣旨『動的コーン貫入試験方法の新規基準化検討 WG』
資料-23.1.10	新設 WG 設立趣旨『不飽和地盤の原位置透水試験方法（仮称）WG』
資料-23.1.11	新設 WG 設立趣旨『孔内流向流速測定方法（仮称）WG』
資料-23.1.12	『グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説』増刷検討資料
資料-23.1.13	理事会報告資料 [1/28理事会議事録案，2/25理事会議事録案，3/18理事会議事録案]
資料-23.1.14	地盤工学会表記法委員会報告資料 [4月6日議事録案]
資料-23.1.15	室内試験規格・基準委員会報告資料 [2月7日議事録案]
資料-23.1.16	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [2月23日議事録案]
資料-23.1.17	会員からの質問の回答（地盤調査規格・基準委員会）
資料-23.1.18	グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説の翻訳に関する報告
別添資料-1	地盤調査関係規準類の改正素案
回覧資料	第 29 回土木技術専門委員会資料 [3 月 11 日]

1. 前回議事録の確認

(資料-23.1.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係

(1) 平成 23 年度予算

(資料-23.1.1)

23 年度予算書について事務局より第三次案の説明があった。一般会計（事業区分は公 2：基準作成）では赤字の予算であるが、刊行特別会計（事業区分は公 1：刊行事業）では黒字であることの説明があった。

(2) 日下部会長からの提案 **継続審議**

- ① JGS 基準の JIS 化の促進
- ② 基礎設計・施工基準の促進
- ③ ISO 活動への資金獲得
- ④ CEN のアジア版組織の構想
- ⑤ HP 掲載内容の改訂について

(3) 東北地方・太平洋沖地震対応

(資料-23.1.2)

基準部が主管して対応する事項は示されていないが、被災地の教育機関への出版物を通じた支援を事業部が行い、その中には基準書も含まれることが説明された。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

(2) 地盤調査規格・基準委員会

① ワーキング 1 (委員の交代)

倉橋 稔幸 委員 ((独) 土木研究所地盤材料研究所グループ) → 稲崎 富士 氏 (同所)

理由：転勤に伴う交代

② ワーキング 7 (委員の交代)

佐藤 英二 委員 ((株) 竹中工務店技術研究所) → 平井 芳雄 様 (同所)

藤原 優 委員 (NEXCO 総研) → 関 茂和 様 (同所)

理由：転勤に伴う委員の交代

③ ワーキング 8 (委員の交代)

森 啓年 委員 ((独) 土木研究所材料地盤研究グループ) → 石原 雅規 氏 (同所)

理由：転勤に伴う委員の交代

①~③の委員の交代を承認した。

④ ワーキング 4 (委員の交代) **メール審議済**

郭 賢治 委員 ((株) トラバース) → 伊集院 博 氏 (旭化成ホームズ)

理由：委員の死亡に伴う交代。後任の伊集院氏は、スウェーデン式サウンディングの JIS 規格ワーキングに関与され、本試験法に関する専門家であり、解説の執筆に不可欠である。

⑤ ワーキング 5 (委員の追加) **メール審議済**

座間 俊男 氏 ((株) ダイヤコンサルタント)

理由：プレッシャメータ試験の基準・解説を土と岩盤で統一的に見直すこととなり、作業量が多くなり、これを工程内に終了させるために委員を 1 名追加したい。座間氏は、プレッシャメータの試験に詳しく、基準・解説の執筆者としてふさわしい。

⑥ ワーキング 3 (委員の追加)

杉井 俊夫 氏 (中部大学)

理由：不飽和地盤の原位置透水試験方法の新規基準化検討を行うため。

委員の追加を承認した。

(3) ISO 国内委員会

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 部員公募への応募 **継続審議**

(7) 平成 23 年度常設委員会の構成

(資料-23.1.3)

ISO 国内委員会、地盤工学表記法、室内試験規格・基準委員会、地盤調査規格・基準委員会の委員構成を承認した。

(8) 平成 23 年度基準部の構成

平成 23 年度部会の構成を承認した。主な変更は ISO 担当 岸田委員→宮田委員, 室内試験 豊田委員→吉嶺委員。

安福理事より、WG まで含めた委員の名簿を公開してはどうかとの意見があり、1 年に 1 回(新旧交代の際)は部会資料として委員に配布することを確認した。

4. ISO 国内委員会 関係

- (1) 国際会議派遣

5. 地盤工学表記法委員会 関係

- (1) 地盤工学用語の規格作成 WG の設立

(資料-23.1.4)

WG 設立を承認した。学会の定める標準用語との整合をはかり、200 語程度を含んだ規格原案を作成することの説明があった。

- (2) 常用漢字表改定に伴う提案

(資料-23.1.5)

改定された「常用漢字表」に対応した基準部関連原稿執筆要領を提案し、了承した。この内容を理事会で報告し、他部の執筆要領にも参考としていただけるよう働きかける。

- (3) レキシコン日英対応の電子化 (国際部からの依頼対応)

(資料-23.1.6)

提案があった英語表記の用語の日本語訳を確認し、国際部へ提出する。今回の用語の大部分はすでに用語辞典編纂の際に、オーソラーズされたものである。適訳がないものは (N/A) と表記した。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

- (1) 室内試験関係規格・基準に関する質問への対応について

(資料-23.1.7)

質問には赤本の解説に記載されている範囲で回答することが望ましく、一部の文章を削除・修正することとした。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

- (1) 地盤工学会基準 (JGS) の改正素案

(資料-23.1.8, 別添資料-1)

編・WG 番号	章タイトル	基準番号
第 3 編 (WG1)	物理探査・検層	1121, 1122 (2 基準)
第 5 編 (WG2)	ボーリング・サンプリング	1221, 1222, 1223, 1224, 1231, 3211 (6 基準)
第 6 編 (WG4)	サウンディング	1411, 1431, 1433, 1435 (4 基準)
第 7 編 (WG3)	地下水	1311, 1312, 1313, 1314, 1315, 1316, 1317, 1321, 1322, 1323 (10 基準)
第 9 編 (WG6)	現場密度試験	1611, 1612, 1613, 1614 (4 基準)
第 10 編 (WG7)	現地計測	1711, 1712, 1718, 1721, 1725, 1731, 3711, 3731, 3541, 3551, 3721, 3722 (12 基準)
第 11 編 (WG8)	環境化学分析のためのサンプリング	1911, 1912, 1921, 1931, 1951, 1941, 1942, 1943 (8 基準)

上記 46 基準について、改正の要点について説明があった。具体的には ISO との整合をとったことにより新たに加わる内容 (試料の品質, 調査地点の復旧, 維持管理, 報告事項等) である。基準案に関する意見・指摘事項をまとめて 5 月 10 日迄に各委員から利藤委員に連絡することとなった。

規格・基準の執筆は利用者の読みやすさを考慮して文章中の記号に (単位) をつけないことが了承された。(JIS 担当者へのヒアリングで規格のフォーマットと齟齬がないことも確認済み)。

- (2) 新設 WG

- 動的コーン貫入試験方法の新規基準化検討 WG

(資料-23.1.9)

- 不飽和地盤の原位置透水試験方法 (仮称) の新規基準化検討 WG

(資料-23.1.10)

- ・孔内流向流速測定方法（仮称）の新規基準化検討 WG (資料-23.1.11)
上記3つの基準化検討 WG の設立を承認した。加えてメンバー（リーダー、幹事、追加委員）についても承認した。活動費用については、23年度の既存 WG（WG3、WG4）に割り当てた予算内で活動する。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

9. 販売促進 WG

10. 基準部所管刊行物

- (1) グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説 (資料-23.1.12)
・事務局案：500部
- (2) 性能設計概念に基づいた基礎構造物等に関する設計原則（JGS 4001-2004）
・事務局案：100部
上記2件の増刷を事務局案通り承認した。

11. その他

報告事項

- 1. 理事会（1月28日，2月25日，3月18日）開催報告 (資料-23.1.13)
基準部に関連する事項について報告があった。規格・基準作成の工程表について理事会での指摘とその対応について説明があった。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

- (1) ISO 国内委員会
① 平成22年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	100万円		×		
・三菱総合研究所（回答作成）	60万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	196万円		○		
・日本土木工業協会	50万円		未定		
・日本規格協会	44万円		○		
・経済産業省		320万円	○		
小計	450万円	320万円			
合計	770万円				

- (2) 地盤工学表記法委員会
① H23 第1回委員会（4月6日開催）報告 (資料-23.1.14)
委員会議事録をもとに活動報告があった。

- (3) 室内試験規格・基準委員会
① H22 第3回委員会（2月7日開催）報告 (資料-23.1.15)
委員会議事録をもとに活動報告があった。

- ② 会員からの質問の回答 (資料-23.1.17)
赤本および基本と手引きについて会員から質問があり，誤植であることがわかった。質問者へ回答するとともに，正誤表を HP にアップし，次回増刷時に修正する。

- (4) 地盤調査規格・基準委員会
① H22 第4回委員会（2月23日開催）報告 (資料-23.1.16)
委員会議事録をもとに活動報告があった。

- (5) 地盤設計・施工基準委員会
① グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説の翻訳に関する報告 (資料-23.1.18)
基準・同解説書の翻訳（ベトナム土木工学専門国立大学フン教授）について報告があった。より具体的な内容が示された段階で許諾等の対応を行う方針であることが報告された。

- (6) 販売促進 WG

4. 日本工業標準調査会 土木部会

① 第29回土木技術専門委員会(3月11日開催)報告

(回覧資料)

地盤関連の規格に関する議論や審議は無し。

●H22年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	高橋 邦夫	4/12, 6/18
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 平田 健正 (坂井宏行) 三木 博史	6/17, 12/24 6/17 4/27 幹事会, 5/31 幹事会, 12/21 4/15, 4/26 打合, 5/14, 6/2, 6/30, 9/29, 10/22, 11/4, 12/2, 1/7, 3/27
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (細野高康) (太田岳洋) (藤原照幸) (仙頭紀明) (高木宗男) (棕木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	7/21, 10/22, 2/7 6/23, 3/8 12/24
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層(第3編) ・WG2 ボーリング・サンプリング(第4,5編) ・WG3 地下水(第7編) ・WG4 サウンディング(第6編) ・WG5 載荷試験(第8編) ・WG6 現場密度試験(第9編) ・WG7 現地計測(第10編) ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング(第11編) ・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査(第1,2編) ・WG10 地盤環境調査(第12編)	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	5/11, 9/28, 12/8, 2/23 6/23, 10/26, 12/1 6/3, 9/21, 10/29, 11/24, 1/27 5/21, 7/8, 9/22, 10/28, 1/27 5/28, 6/11 打合, 7/26, 10/18, 11/22, 1/5, 1/21, 1/31 5/6, 6/4, 8/6, 9/14 5/14, 7/23, 9/10, 10/22, 11/24, 12/17, 2/8 6/21, 8/23, 10/13, 11/24 5/11, 7/13, 9/21, 3/8 12/16 5/24, 9/14, 1/7, 5/27
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	5/18 幹事会, 7/27, 10/21, 1/27
地盤工学表記法 ・WG-A	岸田 隆夫	9/6, 11/1, 12/20, 2/28, 4/6

5. その他

- 1) 理事会(平成23年 4月22日(金)開催予定)への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会(平成23年 5月6日(金)開催予定)への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 23年度第2回: 平成23年 7月1日(金) 14:00時~
(対応理事会 H23.7.23)

- ・ 23年度第3回：平成 23年 9月 日（ ）14:00時～
（対応理事会 H23.5.13 or 7. ）

☆ 平成 22年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

○ 運営連絡会議

① 4月 23日（金）

② 5月 14日（金）

③ 5月 27日（木）総会/理事会

④ 7月 23日（金）

⑤ 9月 24日（金）

⑥ 11月 26日（金）

⑦ 12月 21日（火）

⑧ 1月 28日（金）

⑨ 3月 18日（金）

⑩ 4月 22日（金）

① 6月 25日（金）

② 10月 22日（金）

③ 2月 25日（金）

⑪ 5月 13日（金）

★ 6月 日（ ）総会/理事会